

# 母島における再生可能エネルギー100%電力供給実証事業開始式を行います

東京都・小笠原村・東京電力パワーグリッド株式会社は、三者で連携し、母島で再エネ100%での電力供給を行う実証事業に取り組んでいます。

本事業によりエネルギー自給率が高まり、災害時のエネルギー確保の面で防災力が向上します。

## ○実証事業開始式

日時：令和7年8月29日（金）10:00～11:30  
 会場：母島村民会館、御幸之浜太陽光発電所（テープカット）  
 内容：式典・主催、来賓紹介

- ・ご挨拶（産業労働局長、小笠原村長、東京都議会議員）
- ・事業概要説明
- ・ご挨拶（東京電力パワーグリッド株式会社）
- ・テープカット
- ・写真撮影

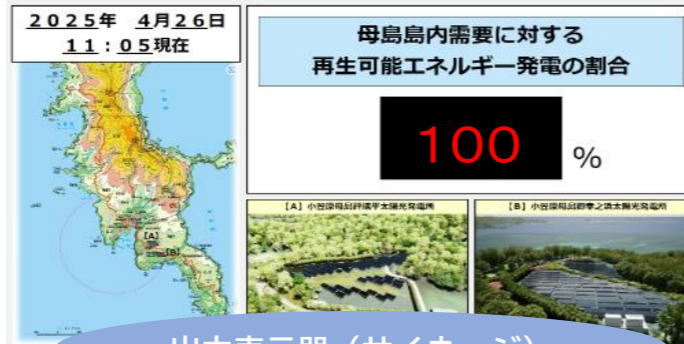
テープカット

## 設備概要

太陽光最大出力：計 1,492kW（評議平太陽光発電所：718kW）  
 （御幸之浜太陽光発電所：774kW）  
 出力表示器：小笠原村母島支所内  
 EV充電器：小笠原村母島支所駐車場  
 蓄電池関係：設置個所：母島内燃力発電所構内  
 蓄電池容量：7,815kWh



母島発電所 蓄電池



出力表示器（サイネージ）



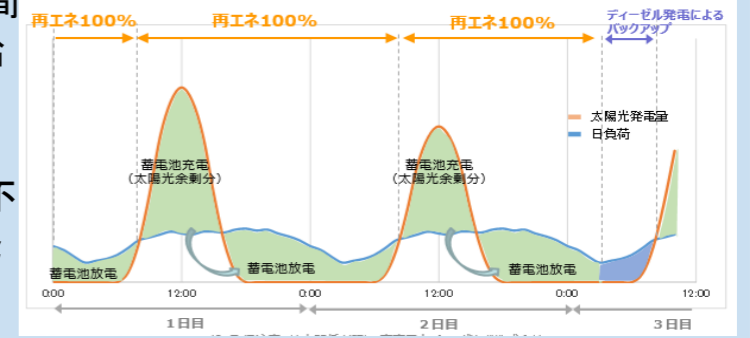
評議平太陽光発電所



御幸之浜太陽光発電所

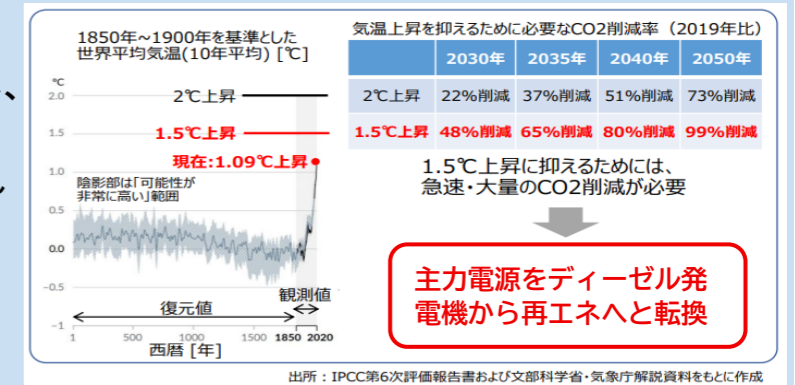
## 再エネ100%とは

昼間は太陽光発電で電力を供給、余った電気を蓄電池に充電し、夜間は蓄電池からの放電で電力を供給する事で、再生可能エネルギー100%での電力供給を実現します。昼間の天候により、電力供給が不足する場合は、既設設備の母島発電所ディーゼル発電機により不足分を補います。



## 環境への配慮

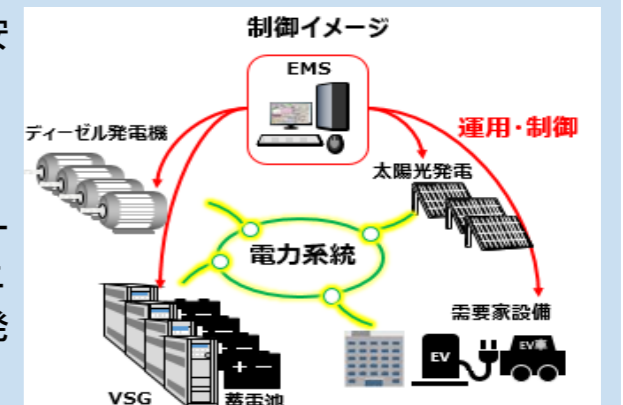
温暖化により1900年基準で現在1.09℃の温度上昇が確認され、これを抑えるため世界的に2050年までのCO<sub>2</sub>排出0が目標とされています。母島での今回の取組により、従来の発電と比較し約50%のCO<sub>2</sub>削減効果が期待できます。



小笠原諸島世界自然遺産の一部となる母島での太陽光発電設置は、環境へ特別な配慮をしつつ実施しました。自然への負担軽減のため、開発済みの土地を複数選定し、長年の入念な環境調査と自然環境への保全対策を取り入れ、希少な固有種への影響低減を図っています。

## 先進的技術

世界に先駆けた技術を採用し、電力の安定供給維持と再エネ100%を実現しています。太陽光発電の大量導入時でも安定運転可能な新型パワーコンディショナー(VSG-PCS)、太陽光発電・蓄電池・既設のディーゼル発電機を統合的にコントロールするエネルギーマネジメントシステム(EMS)を開発導入しました。



お問い合わせ 産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課 電話：03-5320-4684